

### #3 キリストを私たちの常時の救いとして経験する

(メモリアルデー特別集会)2019/7/15-21

**I. ピリピ2:12の救いは、神の罪定めや火の池からの永遠の救いではなく、日ごとの、常時の救いであって、生けるパースンとしてのキリストです:** **ピリピ2:12** そういうわけで、私の愛する人たちよ、あなたがたがいつも従順であったように、私が一緒にいる時だけでなく、私がいらない今はなおさら、恐れとおののきをもって、あなたがた自身の救いを成し遂げなさい。 **A.** この実行上の、日ごとの、瞬間ごとの救いは、私たちが生き、経験し、享受しているキリストを、内側でも外側でも模範とした結果です: **1.** この救いの主要な要素は、十字架につけられた命としてのキリスト、高く引き上げられたキリストです。 **ピリピ2:5-7** キリスト・イエスの中にあつたこの思いを、あなたがたの内側でも思いとしなさい。この方は、神の形の中に存在されませんが、神と等しくあるのを固守すべき尊いこととは見なさず、かえってご自身をむなしくし、奴隷の形を取り…。 **2.** この模範が私たちの内なる命となるとき、この模範は私たちの救いとなります。 **3.** 私たちの救いを成し遂げることは、この模範を成し遂げ、経験においてこの模範の複写となることです。 **B.** ピリピ1:19の常時の救いは、特定の信者が特別な状況の中で、特殊な境遇から救われることです。2:12の常時の救いは、すべての信者が、日常生活の一般的な状況の中で、通常の事柄から救われることです。 **月**

**II. 私たち自身の救いを成し遂げることは、それを完成し、究極の結末にもたらずことです:** **ピリピ2:12** そういうわけで、私の愛する人たちよ、あなたがたがいつも従順であったように、私が一緒にいる時だけでなく、私がいらない今はなおさら、恐れとおののきをもって、あなたがた自身の救いを成し遂げなさい。 **A.** 私たちは神の救いを受けました。この救いの頂点は、私たちが主イエスのように、神によって栄光の中で高く引き上げられることです。 **B.** 今や私たちは、内側の動機である恐れと外側の態度であるおののきをもって、常に絶対的に従順になって、この救いを完成し、究極の結末にもたらず必要があります。

**C.** 内側で活動する神ご自身が私たちの救いであり、この神に従順であることが私たちの救いを成し遂げることです。

**III. 私たちが常に従順であるべきなのは、神が私たちの内で活動しているからです:** **ピリピ2:13** なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです。 **A.** 私たちが自分自身によって救いを成し遂げるのではなく、神が私たちの内で活動して救いを成し遂げるのです。私たちが行なう必要があるただ一つの事は、内側で活動し、活力を与える神に従順であることです。 **B.** 私たちの内で活動している、私たちの主観的な救いである神は、三一の神、すなわち、父、子、霊です。この神は私たちの中におられるキリストであり、私たちの中におられるその霊です。 **火**

**IV. 神は彼の大きい喜びのために、私たちの内で活動し、願わせ働かせています:** **ピリピ2:13** なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです。 **A.** 願わせることは内側のことであり、働かせることは外側のことです。 **B.** 願わせることは、私たちの意志の中で起こります。これは、神の活動が私たちの霊から始まり、思い、感情、意志へと広がり、最終的に体へと広がることを示しています。 **C.** 神のみこころの大きい喜びとは、私たちの内で活動して、私たちを神の無上の救いの頂点に到達させることです。 **エペソ1:5** みこころの大きい喜びにいたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。

**V. つぶやきと議論は、私たちの救いを最も満ち満ちた程**

**度にまで完成することを妨げ、キリストを極みまで経験し、享受することを妨げます:** **ピリピ2:14** すべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行ないなさい。 **A.** つぶやきは、感情からであり、おもに姉妹たちから来ます。議論は、思いからであり、おもに兄弟たちから来ます。 **B.** つぶやきと議論は、神に対して不従順であることのゆえです。神に対して従順であることは、すべてのつぶやきと議論を殺します。 **水**

**C.** 私たちはすべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行なうべきです。それは、私たちが責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなるためです: **1.** 「責められるところのない」は、私たちの外側の振る舞いを描写しており、「たくらみのない」は、私たちの内側の性格を描写しています。たくらみのないことは、単純で、装いがなく(政治的でなく)、純真なことです。 **2.** 私たちは神の子供たちとして、神の命と性質を持っています。

**VI. サタンによって強奪され、暗く腐敗したこの世のただ中で、私たちの機能は、発光体のように輝き、命の言葉を提供することです:** **ピリピ2:15-16** それは、あなたがたが、曲がったよこしまな世代のただ中で、責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなり、彼らの間で世にあって発光体のように輝き、命の言を提供するためです。こうして、私が無駄に走ったのでも無駄に労苦したのでもないことを、キリストの日に誇ることができるのです。 **A.** キリストは太陽であり、召会(月)と信者たち(惑星)を持っており、命の言葉を提供することによって、ご自身を反射しています。 **B.** 命の言葉を提供することは、キリストを生かし出すことによって、世の人に命の言葉を適用し、提示し、捧げることです。 **水**

**VII. ピリピ2:12~16は、1:19~21におけるキリストを生きることの解釈です:** **ピリピ1:19-21** というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

**A.** 私たちの内で活動する神は、供給するその霊です。 **B.** 発光体のように輝くことは、キリストを大きく表現することです。また命の言葉を提供することは、キリストを生きることです。 **C.** キリストを生きる唯一の道は、命の言葉で浸透されることです: **1.** 命の言葉は、神の生ける息、命を与えるその霊です。 **2.** 私たちは御言葉を祈り読みし、神の言葉をすべての祈りと願い求めによって受け取る必要があります。 **金**

**3.** 私たちは御言葉を歌い読みし、歌うことによって、知恵を尽きて、キリストの言葉を私たちの内に豊かに住まわせる必要があります。 **コロサイ3:16** 知恵を尽きて、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住まわせ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。 **エペソ5:18-19** 霊の中で満たされ、詩と詩歌と霊の歌とで語り合い、心から主に向かって歌い、朗詠しなさい。 **4.** 私たちは日ごとに生ける御言葉の豊富で満たされるなら、自然に命の言葉を提供します。これはキリストを生きて、彼が私たちの中で大きく表現されることです。

**VIII. ピリピ2:5~16は、私たちの常時の救いのための、神聖で豊富な備えを啓示しています:** **A.** 私たちは、主イエスを模範として持っています。 **B.** 私たちは、内で活動する神を持っています。 **C.** 私たちは神の子供たちであり、神の命と神聖な性質を持っています。 **D.** 私たちは発光体であり、キリストの神聖な光を反射するように資格づけられています。 **E.** 私たち

は、人に提供し提示する命の言葉を持っています。

### Crucial Point①: 献身を更新して、召会建造のために ビジネス・ライフにおいて自分自身の救いを成し遂げる

**OL1:** 今や私たちは、内側の動機である恐れと外側の態度であるおののきをもって、常に絶対的に従順になって、この救いを完成し、究極の結末にもたらず必要があります。**OL2:** 内側で活動する神ご自身が私たちの救いであり、この神に従順であることが私たちの救いを成し遂げることです。**ピリピ 2:12** そういうわけで、私の愛する人たちよ、あなたがたがいつも従順であったように、私が一緒にいる時だけでなく、私がいなくても今はなおさら、恐れとおののきをもって、あなたがた自身の救いを成し遂げなさい。**13** なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内側で活動する神だからです。

私たちは日ごとに、私たちの実行上の救いとしての、活動する神を経験します。私たちの内側で活動する神と協力する時はいつでも、私たちは救いを享受します。神の活動は私たちの救いとなります。さらに、この救いは模範の複写、複製です。模範が私たちの中に複写される時、それは私たちの救いとなります。模範の複写は、神が私たちの内で活動されることによって成就されます。

救いを成し遂げるとは、救いを達成することではありません。むしろ、それは私たちが受けた救いを継続的な従順を通して完成することです。12 節の従順についてのパウロの言葉は、キリストが従順になられたことについて彼が前に言ったことに対する応答です。私たちの模範であるキリストのとても顕著な面は、彼が死にまでも、しかも十字架の死に至るまでも従順になられたことです。神として、キリストはまず重要な段階を取られました。それは、ご自身をむなしくし、彼の神性の表現をわきに置くことです。次に、彼はご自身をむなしくし、人の形を取って、ご自身を低くされました。このご自身を低くすることは、特に従順と関係があります。聖書は従順の重要性を強調しています。例えば、サムエル記上 15:22 で、従うことは犠牲にまさると告げられています。キリストを私たちの救いの模範として受け入れた私たちは、恐れとおののきをもって、常に従うことを学ばなければなりません。私たちは内側で動機としての恐れを持つべきであり、外側で私たちの態度としてのおののきを持つべきです。それは私たちが自分自身に何も信賴していないことを示します。

**ピリピ 2:13** によれば、神は私たちの内で活動しておられます。私たちの救いは単なる行動ではありません。それは私たちの内で活動する生けるパーソンである、三一の神ご自身です。パウロが 13 節で語っている神は、三一の神、すなわち、父、子、霊です。

### 適用: 青年在職・大学院生編

**ピリピ 2:12** の「恐れとおののきをもって、自分自身の救いを成し遂げなさい(work out your own salvation with fear and trembling)」をあなた自身のビジネス・ライフや研究生活に適用してください。あなたの肉の中にはサタンの罪の性質が住んでいます。またあなたの霊から独立した魂は自己となり、神の目的にとって役に立ちません。さらにあなたの周りの環境は曲がったよこしまな世代です。したがって、あなたは祈って目を覚ましていなければ、すぐに墮落した生活を送ってしまいます。こういうわけでパウロは内側の恐れと外側のおののきをもって、救いを成し遂げるように命じたのです。

会社の重要な業務は多くの場合、成し遂げることが困難なものです。しかし、キリストを業務において経験し、享受することができれば、あなたは会社の業務を成し遂げるための知恵、力、忍耐力等としてのキリストを得て、突破するこ

とができます。このためにあなたは神のエコノミーを理解する必要があります。あなたは自分自身とビジネス・ライフを主にささげてください。そして宗教的に神に自分のビジネス・ライフを祝福していただくように求めるのではなく、神のエコノミーの焦点である召会建造のために、ビジネス・ライフでキリストを経験し、自分の魂の中の思いや感情に、主に霊から広がっていただき、造り変えられることを経験してください。この点であなたは神を欺いて、「自分の仕事を第一にしているのに、神のエコノミーを第一にしていると主張して神に祝福を求める」ことはできません。神は欺かれるような方ではありません。あなたは正直になって、次のように祈ってください:「おお主イエスよ、私は根本的に献身が足りないで、自分のために生き、主の祝福を自分のために用いようとしています。私の罪を赦してください。私は神の言葉に対して矛盾した生活を続けることはできません。あなたの憐れみと恵みに頼ります。おお主よ、内側で活動する神に従服して、自分自身の魂の救いを成し遂げることができるようになります。それは私がキリストで満たされたバイタルな人となり、召会に繁殖と建造をもたらすためです。そうであれば神のエコノミーの路線の中で私のビジネス・ライフの必要は、加えて与えられます」。

### Crucial Point②: サタンによって強奪され、暗く腐敗したこの世のただ中で、神の言葉を内住させて、この世の占有に打ち勝ち、発光体のように輝き、命の言葉を提供する

**OL1:** 私たちはすべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行なうべきです。それは、私たちが責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなるためです。**OL2:** 私たちの内で活動する神は、供給するその霊です。**OL3:** 発光体のように輝くことは、キリストを大きく表現することです。また命の言葉を提供することは、キリストを生きることです。**ピリピ 2:16** 命の言を提供するためです。

**ピリピ 2:15** でパウロは、「曲がったよこしまな世代のただ中で…傷のない神の子供たち」について言及しています。私たちは神の子供たちとして、神の命と性質を持っています。神聖な命と性質を持つ神の子供たちとして、私たちは太陽(キリスト)の光を反射する発光体です。そのような者として、曲がったよこしまな世代のただ中で、私たちは傷のない者です。「傷のない」は、責められるところがなく、たくらみがないことの総合的な特性です。「よこしまな」と訳されたギリシャ語の言葉は、「曲がった、ねじれた」を意味します。今日の世代がねじれており、曲がっていることに疑いの余地はありません。このような世代の中で、私たちは世の光として輝くべきです。

神が私たちの内で活動された結果、私たちは自然に命を持ち、その中で命の言葉が他の人たちに提供されます。命の言葉を提供するとは、それを他の人たちに提示すること、彼らにささげること、彼らに適用することです。神が私たちの内で活動し、私たちが御言葉で満たされるなら、私たちはどこにいても、何を言ったり、行なったりしても、生ける神の表現となるでしょう。これが命の言葉を提供することです。

16 節で「提供する」と訳されているギリシャ語の言葉は、適用する、提示する、ささげるを意味します。命の言葉を提供するとは、それを他の人たちに提示し、それを彼らにささげ、それを彼らの状況に適用することです。私たちはどこにいても、命の言葉を提供する必要があります。私たちは命の言葉を他の人たちに提示する必要があります。私たちが自分の周りにいる人たちにささげるものは、つぶやきや議論の言葉ではなく、曲がったことやよこしまなことに関するものであってはなりません。私たちは命の言葉をささげるだけであるべきです。

## 適用: 青少年・大学生編

あなたは世の中が曲がったよこしま(正しくなく道を外れている)な世代であることを認識してください。言い換えると、不義がまかり通り、虚偽に満ちた状態であり、非常に混乱しています。1ヨハネ2:15 世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません。16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。17 世と世の情欲は過ぎ去っていきます。しかし、神のみこころを行なう者は永存するのです。

16 節の FN「肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄」: 肉の欲とは体の情欲です。目の情欲とは目を通しての魂の情欲です。生活の虚栄とは、現在の生活のむなしい誇り、高ぶり、物質の虚栄です。これらはみな世の構成要素です。

17 節の「世と世の情欲は過ぎ去っていきます」: 世が父なる神に敵対しているように、世にあるもの、すなわち世の情欲は神のみこころに敵対します。世を愛する者は、世の情欲と共に過ぎ去っていきます。しかし、神のみこころを行なう者は永存します。

この世とはサタンによって立てられた体系であり、人を占有し、神のみこころを行わせないようにするものです。それは邪悪な物を含んでいる場合もありますし、そうでない場合もあります。この世の目的は人を占有して神に対して役に立たないようにすることです。例えば、クラブ活動自体は邪悪なものであるということではできません。しかしクラブ活動が原因で、主日の集会に参加できなくなったり、福音や牧養のために出て行くことができなくなるとすれば、その人にとってこのことはこの世です。サタンの目的は、この世が人を占有して神のみこころを実行することを妨げることです。ですから神のみこころを実行するために、あなたはこの世の占有から出て来る必要があります。この世に占有されながら、神のみこころを実行することは決してありません。

神のみこころを実行する人は永存しますが、世に占有されたあなたの時間は過ぎ去っていき、無駄になってしまいます。Iヨハネのこの世に関するこの部分は実は 2:14 の若者たちに語られた言葉の継続です。「若者たちよ、私があなたがたに書き送ったのは、あなたがたが強くあり、神の言があなたがたの中に住んでおり、あなたがたが邪悪な者に打ち勝ったからです」。

若者の青少年、大学生の兄弟姉妹たち、あなたはこの世が楽しいので、この世と召会生活を両立させたいと考えるかもしれません。しかし、あなたはそれらの両方を得ることはできません。この世を愛する人は、外科医の前の手術台に横たわっている人のようです。この世を愛する人をサタンは思うままに自由に何でも行うことができます。あなたはこの世の束縛から出て来る力がないと感じても、問題ありません。なぜならそもそもあなたにはこの世に打ち勝つ力がないからです。そうではなく、主の御言葉をあなたの中に住まわせてください。主の御言葉には力があり、サタンとこの世に打ち勝つ力をあなたに供給します。ヘブル 4:12 なぜなら、神の言は生きていて活動しており、どんなもろ刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を切り離すまでに刺し通して、心の思いと意図を識別することができるからです。

あなたの必要は霊を活用し、内側を開いて、次のように祈ることです:「おお主イエスよ、私は神のみこころを実行する人になりたいです。しかしこの世を愛さず、この世から出て来る力が私の内側にはありません。主イエスよ、私は何もすることができないのですが、ただあなたに向きを変え、あなたに対して大きく開きます。毎朝、御言葉を読み、祈り読み

します。神の言葉が私の中に住んでください。私は自分に信頼せず、神の言葉に信頼し、神の言葉が私の中で力となり、サタンとサタンの体系であるこの世に打ち勝つことができると信じます。なぜなら聖書はそのように言っているからです。私が内側で活動する三一の神と協力して、自分自身の救いを成し遂げ、世にあつて発光体のように輝き、命の言葉を友人たちに提供することができますように」。

神のみこころを実行する人は、「曲がったよこしまな世代のただ中で、責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなり、彼らの間で世にあつて発光体のように輝き、命の言葉を提供する(ピリピ 2:15-16)」のです。15 節の FN「発光体のように輝き」: ギリシャ語は、太陽の光を反射する発光体を言います。信者たちはそのような発光体として、この世に輝いています。彼ら自身には光はありませんが、キリストの光を反射する天的能力を持っています。

**Crucial Point③: 御言葉を祈り読みし、詩歌を歌い読みし、キリストの言葉を享受して、豊かに内に住まわせる。その後、新人たちのために祈り、訪問する**

**OL1:** キリストを生きる唯一の道は、命の言葉で浸透されることです。命の言葉は、神の生ける息、命を与えるその霊です。

**OL2:** 私たちは御言葉を祈り読みし(Pray-read)、神の言葉をすべての祈りと願い求めによって受け取る必要があります。**OL3:** 私たちは御言葉を歌い読みし(Sing-read)、歌うことによって、知恵を尽くして、キリストの言葉を私たちの内に豊かに住まわせる必要があります。コロサイ 3:16 知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住まわせ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。

エペソ 5:18-19 霊の中で満たされ、詩と詩歌と霊の歌とで語り合い、心から主に向かって歌い、朗詠(singing and psalming、歌い賛美)しなさい。6:17…さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。

エペソ 6:17 と 18 でパウロは私たちに、その霊の剣、すなわち霊である神の言を、すべての祈りと願い求めによって受け取るように告げています。ここでパウロは御言葉とその霊の両面を取り扱っています。さらに、彼は私たちに、すべての祈りによって、どんな時にも霊の中で祈り、神の御言葉を受け取るように告げています。私たちはすべての祈りによって、すなわち、聞こえる祈りと沈黙の祈り、長い祈りと短い祈り、速い祈りとゆっくりした祈り、個人的な祈りと公の祈りによって、神の御言葉を受け取ることができます。

祈りによって神の御言葉を受け取ることは、御言葉を祈り読みすることです。私たちは神の御言葉に来るときはいつでも、単に目を活用して読み、思いを活用して理解するだけでなく、私たちの霊も活用すべきです。…私たちが聖書を読むことは、祈りと混ぜ合わされるべきです。これが祈り読みです。…私たちが御言葉を祈り読みするとき、御言葉は私たちにとって神の生ける息、その霊となります。結果として、私たちは水注ぎを受け、養われ、新鮮にされ、照らされます。…聖書は、…私たちの経験の中で養う霊となります。

私たちの多くは長年、聖書を読んできましたが、歌うことによって神の御言葉を受け取ることができることを認識していませんでした。読むことによってだけでなく、歌うことによって、聖書の一節を取ることは、あなたの実行でしょうか? クリスチャンは聖書を研究し、読むように教えられて

きましたが、歌うようには教えられませんでした。私たちは御言葉を祈り読みすることの回復のゆえに感謝します。今や私たちは前進して、神の御言葉を歌い読みしなければなりません。私たちは歌うことによって、知恵を尽くしてキリストの言葉を内に豊かに住ませる必要があります。これは私の教えではありません。それは、コロサイ 3:16 で使徒パウロによって与えられている命令です。

私たちは生ける御言葉で浸透されて、キリストを生けることを心から願うなら、コロサイ 3:16 でパウロが提示した実行に従う必要があります。これは、キリストの言葉を私たちの内に豊かに住ませるのは、思いからの単なる知識によってではなく、歌うことと朗詠することを含む、私たちの霊からのあらゆる種類の知恵によってでなければならぬことを意味します。ああ、私たちは神の御言葉を歌い、朗詠する必要があります！御言葉を歌うことは、それを読むことよりも良く、御言葉を朗詠することは、それを歌うことよりも良いのです。御言葉を朗詠することは、それを思い巡らし、享受することを含みます。私たちは御言葉を朗詠するとき、それにとどまり、それを思い巡らし、それを享受し、こうして御言葉が私たちに浸透するさらに多くの機会を与えます。もし私たちが御言葉を読むだけであるなら、私たちが読む箇所が内側に浸透し、飽和する機会ほとんどないでしょう。しかし、私たちは御言葉を歌うなら、特にそれを朗詠するなら、私たちの存在をさらに完全に御言葉に対して開き、御言葉が私たちの中に浸透し、飽和する機会を与えるでしょう。…神の御言葉を集会の中だけでなく、歌い朗詠しましょう。日ごとに御言葉に来て、私たちの全存在をもって歌い、朗詠しましょう。神の御言葉を歌い朗詠するとき、私たちの声、思い、心、霊を活用しましょう。

### 適用:新人編

マタイ 4:4 しかし、イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書かれている」。

ヨハネ 5:39 あなたがたは聖書を調べている。なぜなら、その中に永遠の命があると思っているからである。しかし聖書は、私について証しするのである。40 しかしあなたがたは、命を得るために私に来ようとはしない。

聖書は教理の本ではなく、命の書であり、あなたに命の糧を供給します。従って、聖書を読む時、思いを活用するだけでなく、霊を活用し生ける主に触れるようにすべきです。思いを霊につけて、霊で主に触れながら、思いで理解して享受します。一番良い方法は、祈り読み、Pray-reading です。祈り読みとは、(1)読むこと、(2)主の御名を呼ぶこと、(3)御言葉と内側の靈感を祈ることを混ぜ合わせることです。形式に捕らわれずに、霊を用いて、これら三つのことを混ぜ合わせて実行してください。そうすれば、あなたは御言葉を享受し、主で満たされ、主の言葉があなたの内側に豊かに住みます。歌い読み、Sing-reading も同様に、霊を活用し、思いを霊に付けて、詩歌、御言葉、特別集会の標語などを歌い、宣言し、祈って下さい。

そしてあなたは他の新人のために祈り、訪問することができます。命の豊かさは自然にあなたから彼らに流れ出ます。

祈り読みはいつ行っても良いのですが、一番良い時間は、朝です。毎朝 5~20 分を費やして、「朝毎の食物」などの御言葉を祈り読みし、メッセージの抜粋を読んでください。

祈り:「おお主イエスよ、あなたの言葉は私の命のパンです。私は毎日、御言葉を食べて生きています。特に、毎朝食べる習慣を建て上げます。聖書を読む時、主の下に来て、主の御名を呼び、御言葉を読み、祈ります。主の言葉が私の中に住み、

私を養ってください。更に、私は他の新人のために祈り、訪問して願います。私から命が流れ出ますように！」

### 高い福音 第15課(上)

マタイ 28:19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、

### バプテスマとは何でしょう

信じることは、奴隷一救い主を受け入れることであり、これは罪の赦しのためだけではなく、再生のためでもあります。信じた者たちは、三一の神との有機的な結合の中で、神の子供たち、キリストの肢体となります。バプテスマされることは、奴隷一救い主の死を通して葬られ、旧創造を終わらせることによって、また奴隷一救い主の復活を通して復活させられ、神の新創造となることによって、これを確認することです。信じることとバプテスマされることは、神の全き救いを受けるための、一つの完全な段階の二つの部分です。信じないでバプテスマされることは、単にむなしい儀式にすぎません。また信じてもバプテスマされないなら、内側で救われるだけで、外側の確証がありません。これら二つは並行すべきです。さらに、水のバプテスマには霊のバプテスマが伴うべきです。それは、イスラエルの子たちが、海(水)の中と雲(その霊)の中にバプテスマされたようにです。

バプテスマは形式や儀式ではありません。私たちとキリストとの一体化を意味します。バプテスマを通して、私たちがキリストの中へと浸し込まれ、キリストを私たちの領域とします。それは、私たちがキリストの死と復活の中で、彼と一つに結合されるためです。

私たちは、第一の人、アダム領域の中で生まれました。しかしバプテスマを通して、キリスト、第二の人の領域に移されました。私たちがキリストの中へとバプテスマされる時、彼の死の中へとバプテスマされます。彼の死は、私たちをこの世と暗やみのサタン力から引き離し、私たちの天然の命、古い性質、自己、肉、さらに、私たちのすべての歴史さえ終わらせました。

### バプテスマの重要性

信じるとは、キリストの中へと信じることであり、バプテスマされるとは、キリストの中へとバプテスマされることです。信仰とバプテスマによって、私たちはキリストの中へと入り、こうしてキリストを着て、キリストに結合されて一となりました。正しく、純粋に、生きた方法で実行されたバプテスマは、信者を三一の神の名、神聖な名の中へと入れます。すなわち、キリスト、生けるパーソンの中へと、キリストの死、効き目ある死の中へと、キリストのからだ、生ける有機体の中へとです。それは信者が、キリストとの有機的結合だけでなく、彼のからだとの有機的結合の中へと入るためです。さらに、バプテスマは信者を、彼らの古い状態から新しい状態へともたらし、古い命を終わらせて、キリストの新しい命をもって発芽させます。それは彼らが、三一の神の要素によって、キリストのからだ、有機体の中に生きるためです。

### 詩歌 741 バプテスマ — 葬りと復活

キリストとともに、みずにほうむられ、死ぬ；  
この世もサタンも、もはやついできし得ず。  
ともに復かつし、主とともに生き、あゆむ；  
れいのちからは無げん、めぐみ、えいこういや増す。

### 詩歌 743 バプテスマー完全に終わらされる

- われ死に、ほうむられ、完全に終わらされた！(X2)
- 終わった！終わった！完全に終わらされた！(X2)
- わたしは、もはや、生きているのでなく、キリスト！キリスト！わがうちに生きるは。